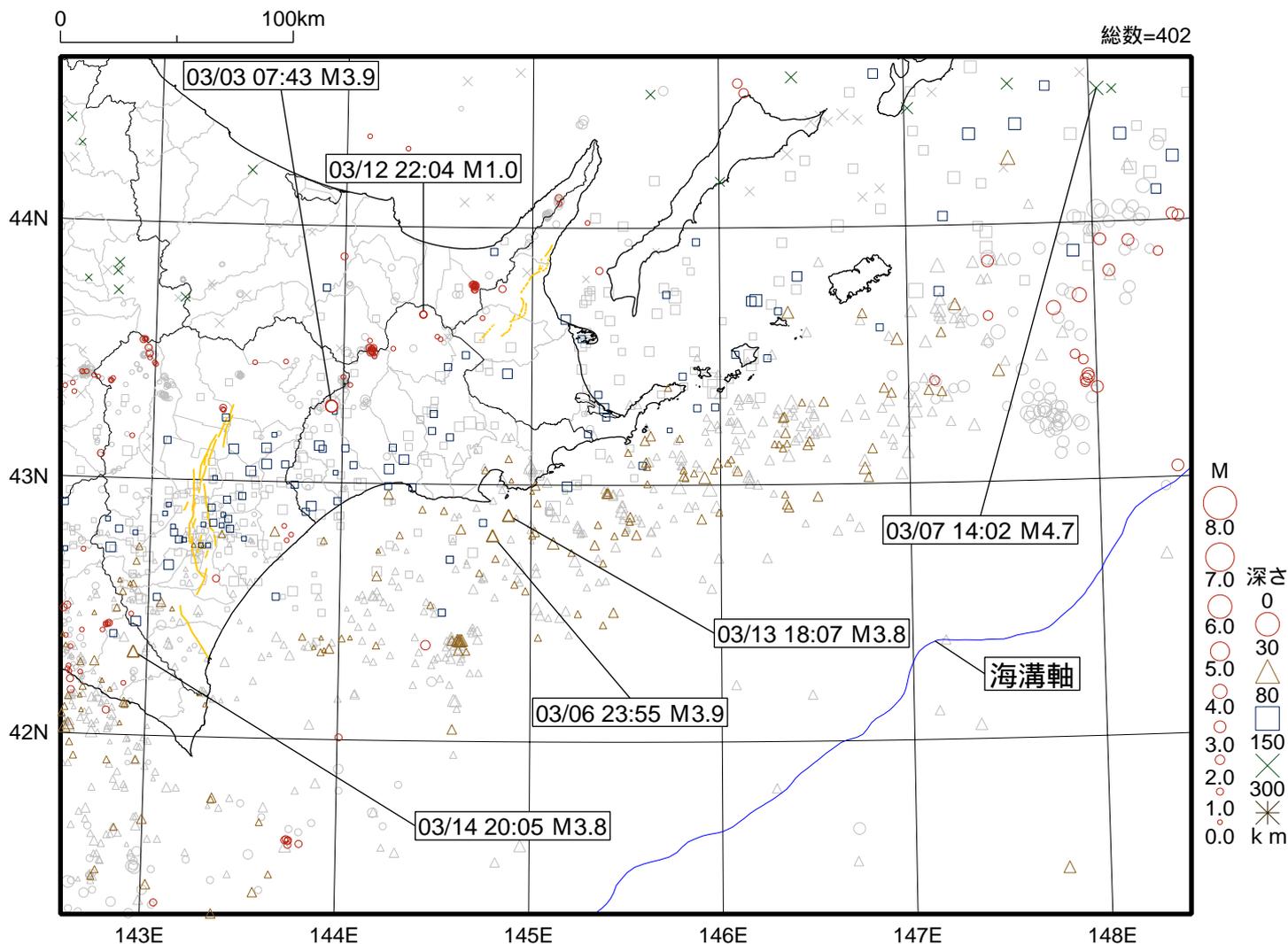


釧路・根室・十勝地方の地震活動図

2020年3月1日～2020年3月31日

震央分布図

釧路地方気象台



これは暫定値であり、データは後日変更することがあります。

記号Mはマグニチュードを表します。

図中橙色の線は地震調査研究推進本部による主要活断層を表します。

過去の地震活動と比較するため、前3ヶ月(今期間を含まない)の震央を灰色のシンボルで表します。

地震概況(2020年3月)

この期間、釧路・根室・十勝地方の震度観測点で震度1以上を観測した地震は9回(2月は9回)で主な地震は次のとおりです(詳細は「震度1以上を観測した地震の表」を参照)。

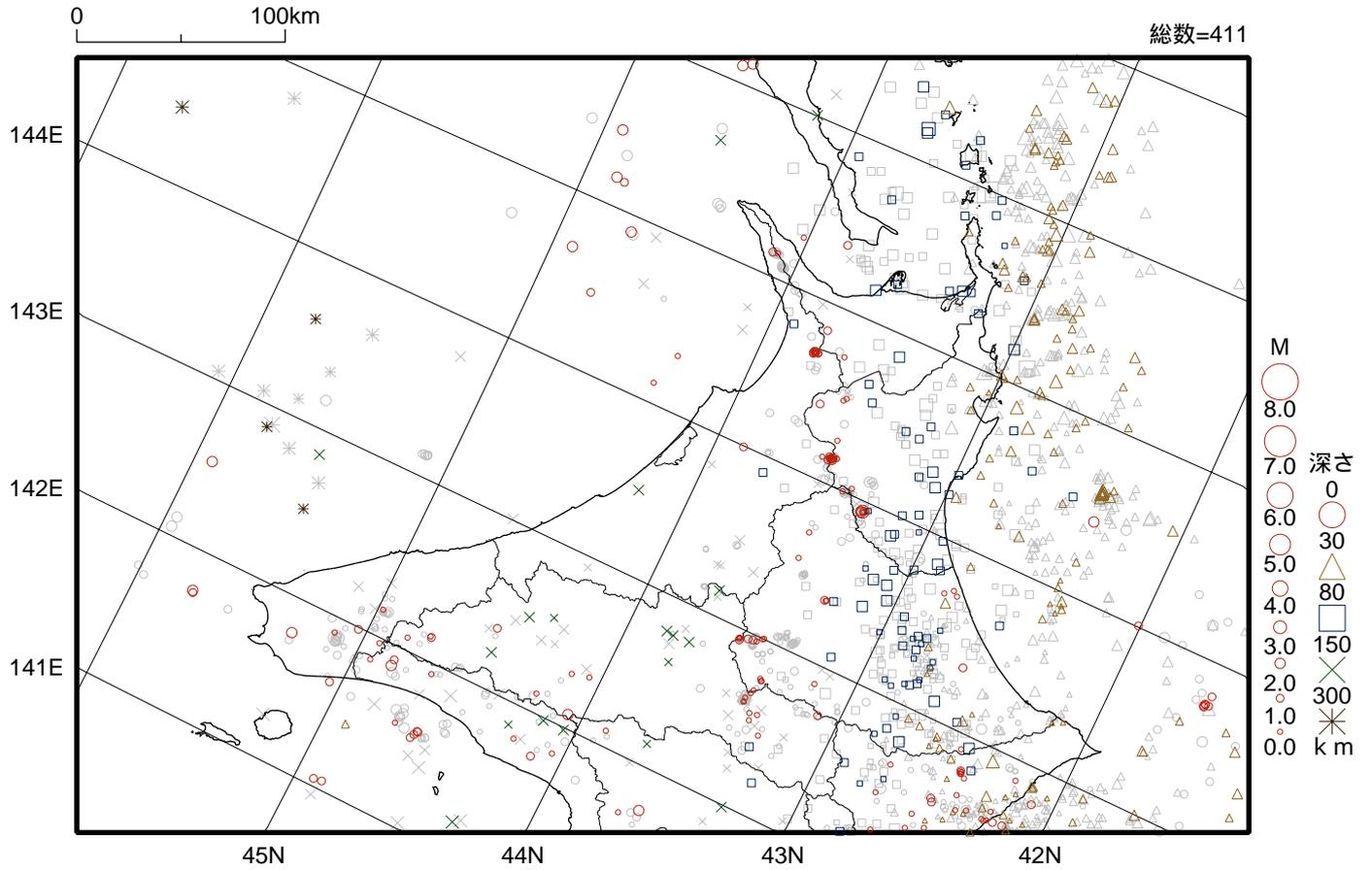
3日07時43分、釧路地方中南部を震源とする地震(M3.9、ごく浅い)により、釧路市阿寒町、足寄町で震度2を観測したほか、釧路・十勝地方で震度1を観測しました。

28日09時57分、浦河沖を震源とする地震(M5.0、深さ70km、震央分布図の範囲外)により、十勝地方で震度2を観測したほか、釧路・根室・十勝地方で震度1を観測しました。

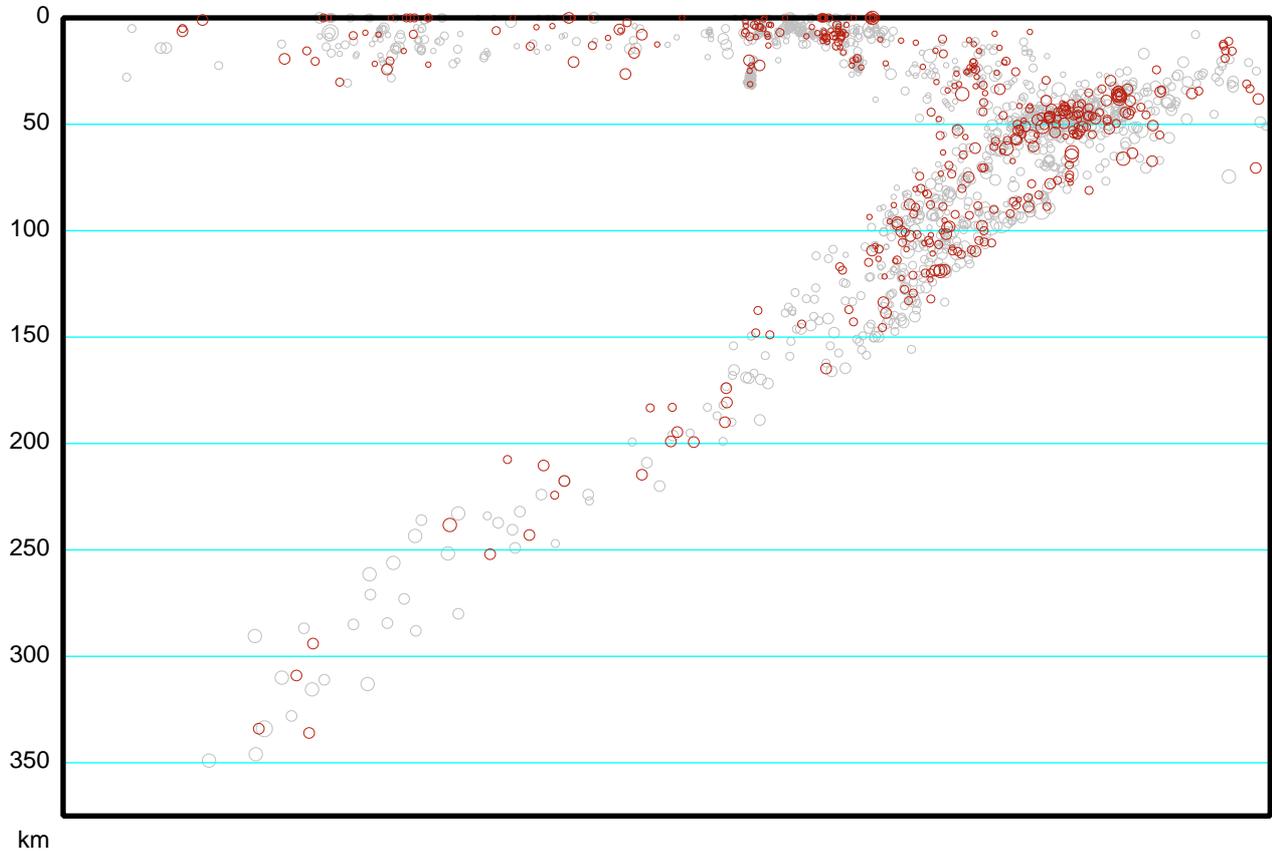
この活動図は、釧路地方気象台のホームページに掲載しておりますのでご利用ください。
ホームページのアドレスは、「<https://www.jma-net.go.jp/kushiro/>」です。

2020年3月1日 ~ 2020年3月31日

震央分布図



断面図



これは暫定値であり、データは後日変更することがあります。
記号Mはマグニチュードを表します。
過去の地震活動と比較するため、前3ヶ月（今期間を含まない）の震央を灰色のシンボルで表します。

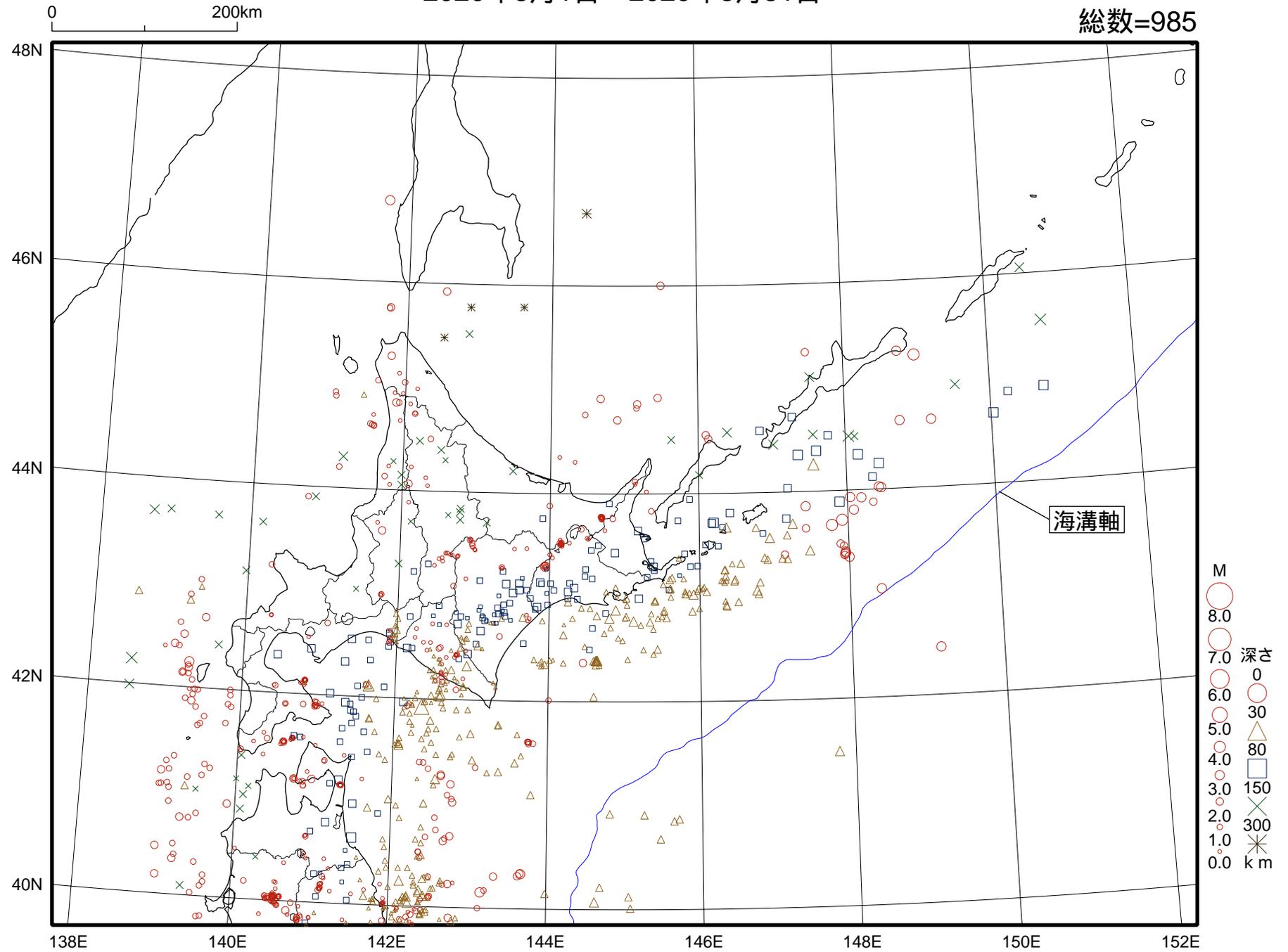
北海道の地震活動図

2020年3月1日 ~ 2020年3月31日

札幌管区気象台

震央分布図

総数=985



震度 1 以上を観測した地震の表 (2020年3月)

年 月 日 地方	時 分 震度	震央地名 震度観測点名	北緯 (N)	東経 (E)	深さ (km)	規模 (M)
2020年 3月 3日 十勝地方 釧路地方	07時43分 震度 2 震度 1 震度 2 震度 1	釧路地方中南部 足寄町上螺湾(17) 足寄町南1条*(07) 陸別町陸別*(08) 本別町北2丁目(12) 本別町向陽町*(05) 釧路市阿寒町阿寒湖温泉*(18) 釧路市阿寒町中央*(12) 鶴居村鶴居東*(09)	43°17.8 N	143°56.3 E	0 km	M3.9
2020年 3月 6日 釧路地方 根室地方	23時55分 震度 1 震度 1	釧路沖 弟子屈町弟子屈*(05) 釧路市幸町(06) 釧路町別保*(07) 厚岸町尾幌(07) 厚岸町真栄*(05) 浜中町茶内*(07) 標茶町塘路*(08) 中標津町養老牛(05) 別海町西春別*(11)	42°48.0 N	144°47.9 E	51 km	M3.9
2020年 3月 7日 根室地方	14時02分 震度 1	択捉島南東沖 根室市落石東*(09) 根室市瑠瑠瑠*(06)	44°31.1 N	148°02.5 E	151 km	M4.7
2020年 3月 12日 釧路地方	22時04分 震度 1	釧路地方北部 弟子屈町サワンチサップ*(08)	43°39.5 N	144°25.1 E	0 km	M1.0
2020年 3月 13日 釧路地方 根室地方	18時07分 震度 1 震度 1	釧路沖 厚岸町尾幌(06) 浜中町湯沸(09) 浜中町茶内*(06) 標茶町塘路*(09) 根室市落石東*(08)	42°52.8 N	144°52.9 E	56 km	M3.8
2020年 3月 14日 十勝地方	20時05分 震度 1	日高地方東部 幕別町忠類錦町*(09)	42°19.5 N	142°55.6 E	61 km	M3.8
2020年 3月 18日 十勝地方 釧路地方 根室地方	00時10分 震度 1 震度 1 震度 1	北海道南西沖 本別町北2丁目(08) 本別町向陽町*(05) 浦幌町桜町*(13) 釧路市音別町中園*(14) 白糠町西1条*(10) 別海町常盤(07) 別海町本別海*(05) 根室市落石東*(10)	42°14.4 N	138°32.3 E	237 km	M4.9
2020年 3月 25日 十勝地方 釧路地方 根室地方	11時49分 震度 1 震度 1 震度 1	北西太平洋 十勝大樹町生花*(05) 標茶町塘路*(09) 白糠町西1条*(10) 別海町常盤(11) 別海町本別海*(10) 根室市落石東*(12) 根室市瑠瑠瑠*(08)	48°59.1 N	157°41.5 E	57 km	M7.5
2020年 3月 28日 十勝地方 釧路地方 根室地方	09時57分 震度 2 震度 1 震度 1 震度 1	浦河沖 新得町2条*(16) 帯広市東4条(16) 幕別町忠類錦町*(17) 浦幌町桜町*(20) 十勝大樹町東本通*(15) 十勝大樹町生花*(16) 広尾町並木通(17) 広尾町白樺通(16) 上土幌町清水谷*(06) 鹿追町東町*(09) 足寄町南1条*(08) 帯広市東6条*(14) 音更町元町*(14) 土幌町土幌*(09) 十勝清水町南4条(13) 芽室町東2条*(12) 幕別町忠類明和(05) 幕別町本町*(10) 十勝池田町西1条*(12) 豊頃町茂岩本町*(12) 本別町北2丁目(10) 本別町向陽町*(09) 中札内村東2条*(09) 更別村更別*(11) 釧路市阿寒町中央*(08) 釧路市音別町中園*(12) 白糠町西1条*(09) 別海町常盤(08)	41°55.3 N	142°21.2 E	70 km	M5.0

各地の震度は、釧路・根室・十勝地方のみを掲載しています。

*のついている地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

地震概況ではセントロイドの深さで表現した地震が含まれている場合があります。

震源の緯度、経度、深さ、規模は暫定値であり、データは後日変更することがあります。

()内の数値は0.1単位の詳細な震度(計測震度)の小数点を省略して表しています。

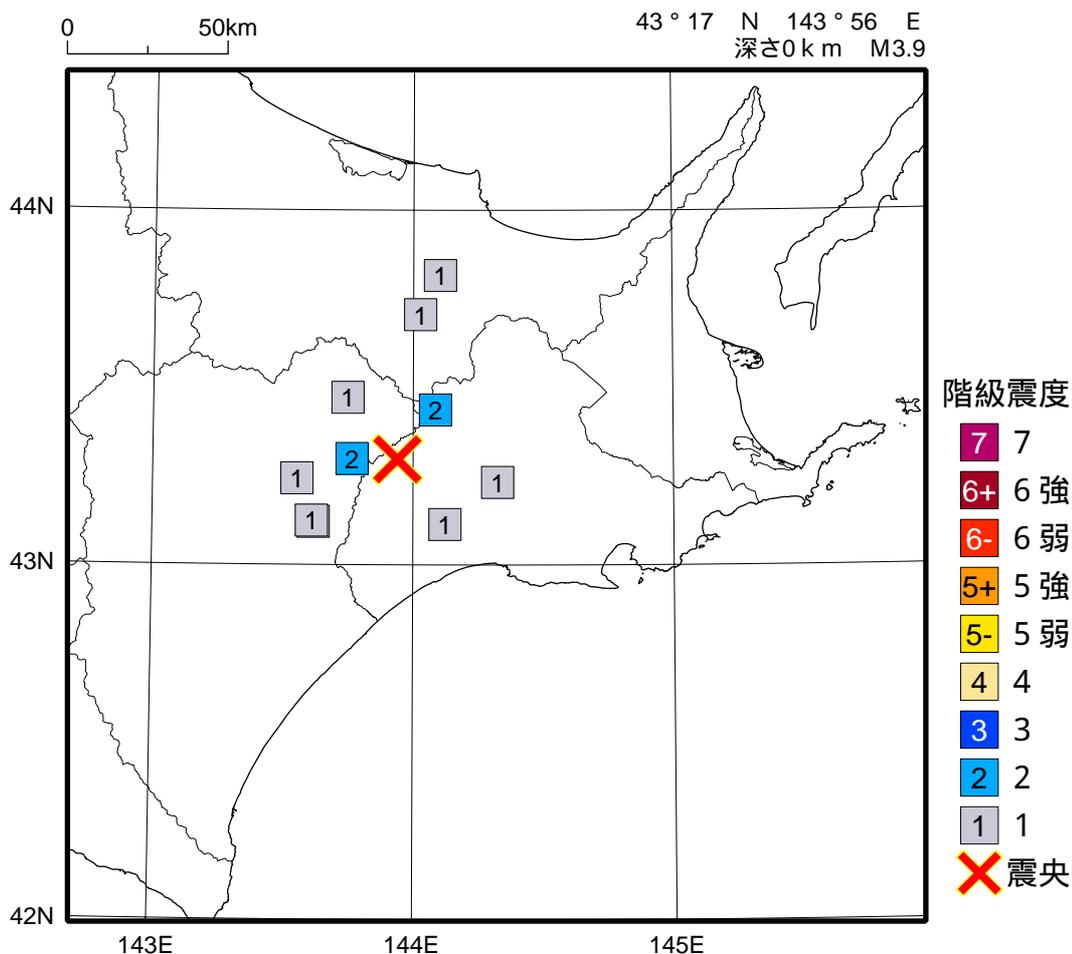
計測震度と震度階級の対応は下表のとおりになっています。

計測震度と震度階級の関係

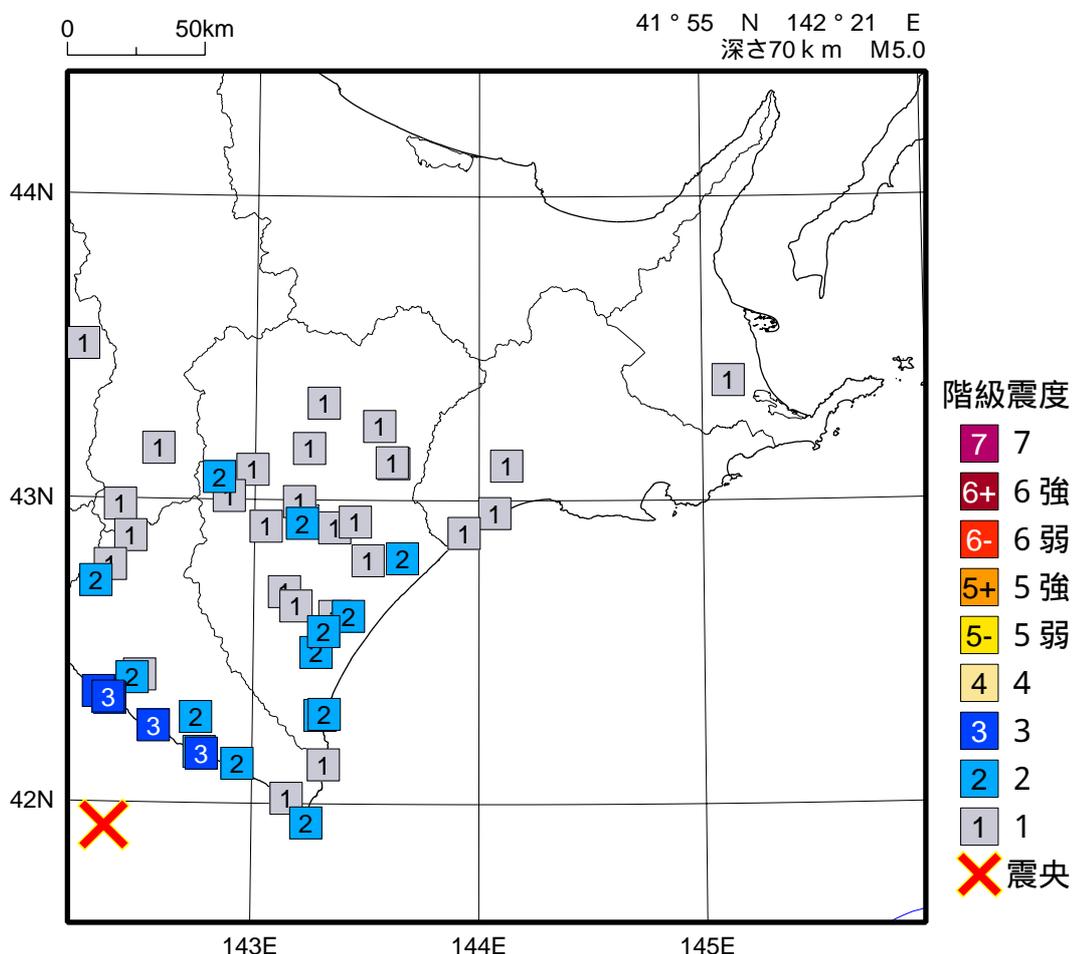
計測震度	~0.4	0.5~1.4	1.5~2.4	2.5~3.4	3.5~4.4	4.5~4.9	5.0~5.4	5.5~5.9	6.0~6.4	6.5~
震度階級	0	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、米国大学間地震学研究連合(IRIS)の観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。

2020年 3月 3日07時43分 釧路地方中南部の地震の震度分布図



2020年 3月28日09時57分 浦河沖の地震の震度分布図



【防災メモ】

～異常震域について～

一般的に、地震の揺れは震源に近い場所ほど強く、震源から遠い場所ほど弱くなります。しかし、深い場所で発生する地震（深発地震）では、震源に近い場所より遠く離れた太平洋側の場所の方が強く揺れる場合があります。

深発地震が発生すると、震源に近い真上には、地震波が減衰しやすい領域を通るために揺れが弱まって伝わる一方で、太平洋側には、地震波が減衰しにくい海洋プレートを通るために揺れがあまり弱まらずに伝わります。その結果、震源に近い場所よりも遠く離れた太平洋側で震度が大きくなり、このことを「異常震域」と呼びます（図1）。

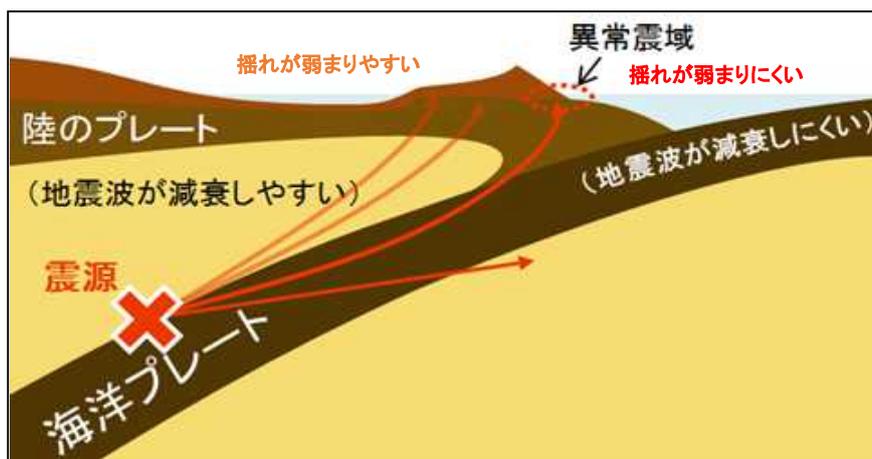


図1 異常震域模式図

例えば、オホーツク海南部の地震（深さ 431km）により北海道と東北地方の太平洋側のみで震度 1 以上を観測した事例や、京都府沖の地震（深さ 374km）により北海道の浦幌町で最大震度 4 を観測したほか、北海道から関東地方にかけての太平洋側で震度 3 以上の揺れを観測した事例があります（図2）。



オホーツク海南部の地震の震度分布図
(2011年12月10日 M5.7 深さ431km)



京都府沖の地震の震度分布図
(2007年7月16日 M6.7 深さ374km)

図2 異常震域の例（×印は震央、数字は震度を示す）